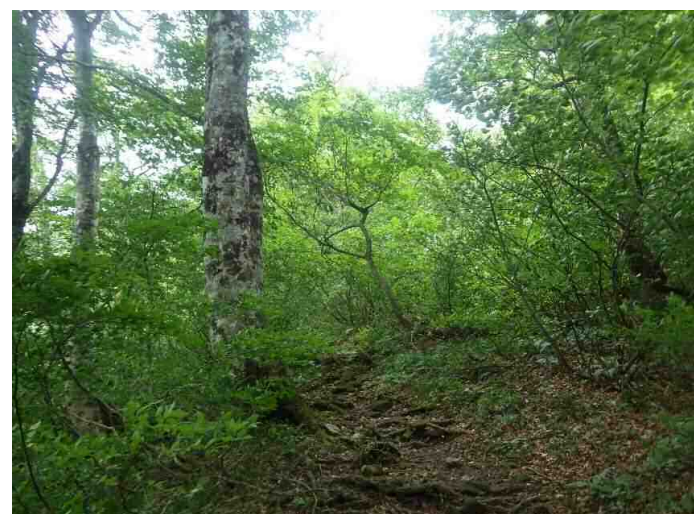
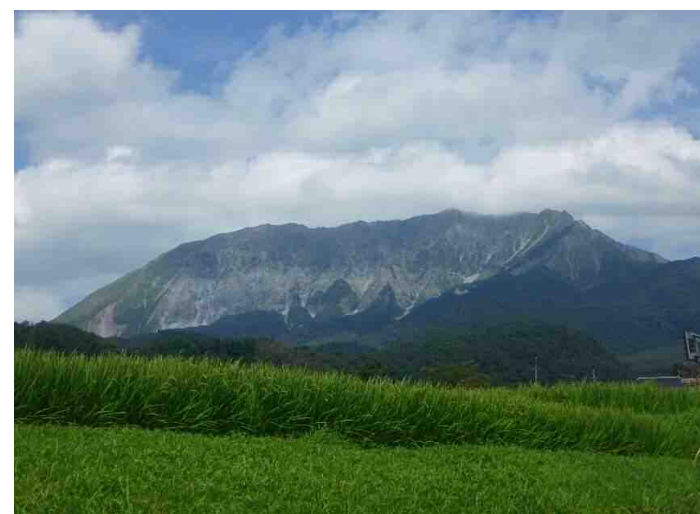


大山森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	近畿中国森林管理局・鳥取森林管理署
所在地・面積	鳥取県琴浦町、大山町、江府町 ・ 3,190.45ha
設定年	平成4年3月28日設定、平成29年3月31日変更、平成30年4月1日変更、令和元年4月22日変更、令和2年3月24日変更

保護林の概要

当該区域は、中国山脈の北側に位置する中国地方の最高峰であり、原生的な状態を保存した極めて優れた自然景観が残された地域である。
 森林植生は、海拔600～1,350m付近までブナ-クロモジ群集が広く生育し、これより上部は風衝落葉低木林が広がっている。海拔1,700m付近より、冬季の多雪等の影響もあって亜高山、高山系の植物が多く分布している。亜高山帯に属する山頂部には、特別天然記念物に指定されている「大山のダイセンキャラボク純林」までの垂直的な植物群落の推移がみられるとともに、山腹を大きく刻む崩壊地に発達する植物群落の遷移系列が見られる等、学術的にも極めて価値が高い。
 植物群落はブナを中心とした典型的な日本海型から太平洋型要素の強いものまでみられ、本州域における南端のブナ群落として重要な位置にある。



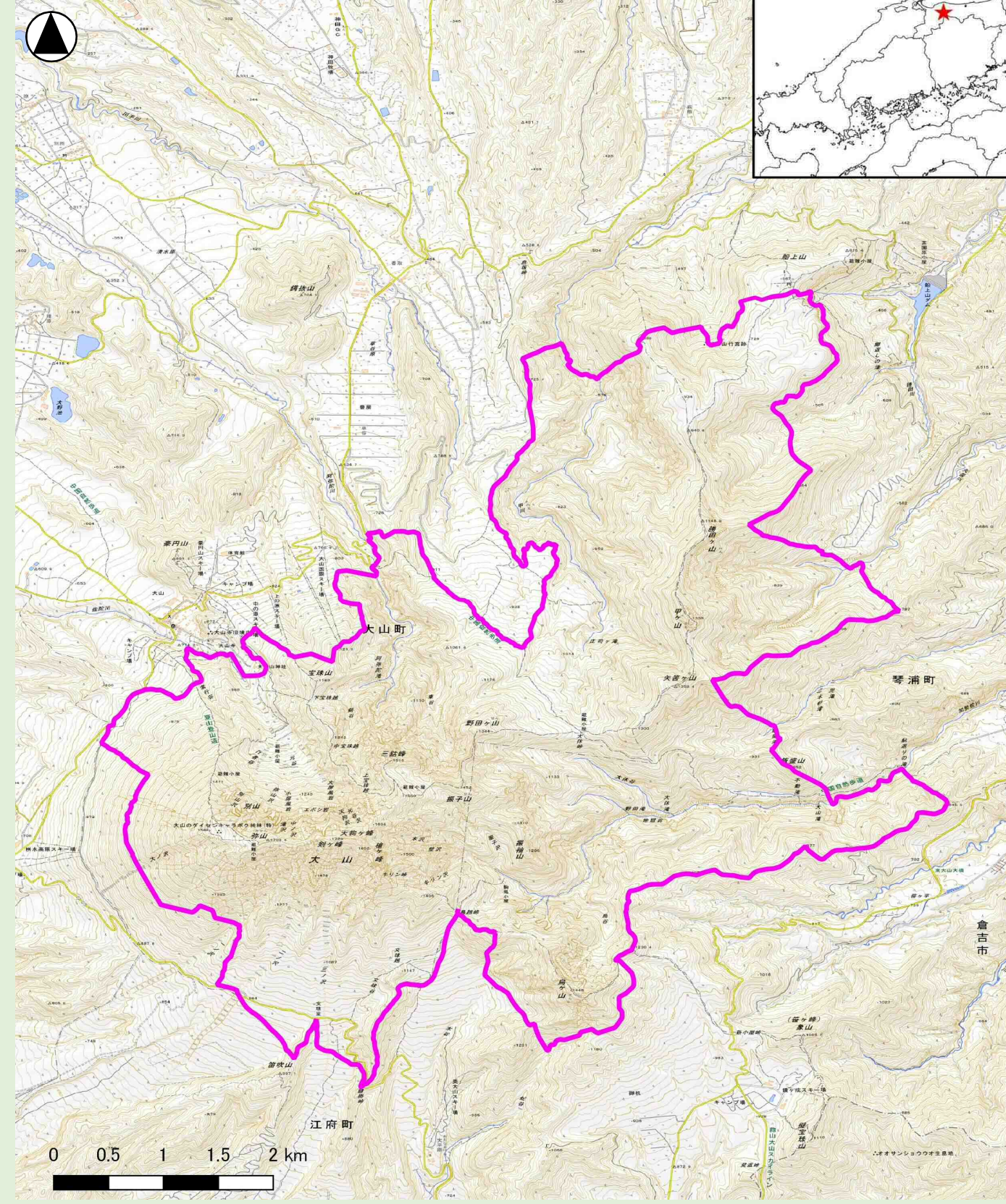
モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林タイプの分布等調査、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、野生生物の生息状況、山火事等災害発生状況調査、病虫獣害・気象害発生状況調査、利活用実態調査、管理体制実態調査

結果概要

キャラボク群落やブナ群落、ブナ-ミズナラ群落等の森林に顕著な異常は見られなかった。原生的な天然林等の生育を大きく変えるような森林タイプの変化や大規模な森林被害は確認されず、気候帯または森林帯を代表する原生的な天然林を主体とした森林が維持されている。
 踏査区間内の下層植生が衰退している兆候や顕著な被害は確認されていない。ただし、外来種や踏跡植物の高標高地帯への侵入が確認された。
 病虫害・鳥獣害・気象害として、山腹崩壊やナラ枯れが確認された。山腹崩壊は適切な治山事業が実施されており、ナラ枯れも伐倒駆除等の適切な対応が継続的に実施されている。ただし、自動撮影調査の結果、複数の地点でニホンジカ（オス）の生息が確認されており、資料調査において繁殖集団の形成が懸念されている。
 これらのことから、当該保護林はニホンジカの侵入初期段階の地域と判断される。

大山森林生態系保護地域 位置図



保護林内での注意事項

- ★貴重な植物群落の保護にご協力ください。
- ★植生の荒廃防止のため、歩道を外れて歩かないでください。
- ★許可なく動植物の捕獲及び採取をしないでください。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。